

注意 (注意喚起) 2段階方式で注意喚起 各所に設置するとする	バグドマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方には注意する。 特に、危険度分布をこまめに確認する。	—	警報 レベル 相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

2 避難に関する予備知識

早めの避難を！

避難情報

警戒
レベル
3

避難準備・高齢
者等避難開始

高齢者等避難に時間の
かかる方とその支援者
は避難を開始！
その他の方々は避難の
準備。

警戒
レベル
4

避難勧告
避難指示(緊急)

災害が発生するおそれ
極めて高い状況であ
り、すみやかに避難！
指定緊急避難場所等へ
の避難を基本とする
避難行動をとる。

警戒
レベル
5

災害発生情報

既に災害が発生してい
る状況。
命を守るための最善の
行動をとる！

前兆現象とは

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。急傾斜地や
がけの渓流付近にお住まいの方は、前兆現象などにより危険を感じたらただ
ちに避難してください。その際は近隣への声かけをお願いします。

安全を確保したあと、市に連絡して災害情報を提供してください。

がけ崩れの前兆現象

- がけから小石が落下
- 湧水の濁り、停止、噴出
- がけに亀裂が発生
- 地鳴り



斜面は一瞬で崩れ落ちます。すみや
かにできるだけ遠くへ逃げましょう。

土石流の前兆現象

- 川の水の異常な濁り
- 転石の音
- 土臭いにおい
- 川の水位の激減
- 流木の発生
- 地鳴り



土砂の流れる方向に対して直角に、
少しでも高いところへ逃げましょう。

みなさんがとるべき行動

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	避難情報等	防災気象情報
警戒 レベル 5	既に 災害が発生 している状況 命を守るための 最善の行動 を！	災害発生情報 (市が発令)	警戒レベル5 相当情報 災害発生情報 大雨特別警報 等
警戒 レベル 4	すみやかに避難先へ避難 移動が危険と思われる場合は、近 くの安全な場所や、自宅内のより 安全な場所に避難！	避難指示(緊急) 避難勧告 (市が発令)	警戒レベル4 相当情報 災害危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒 レベル 3	避難に時間のかかる方 高齢者 障がい者 乳幼児 などと、その支援者は避難！ その他の方は、 避難準備 ！	避難準備・ 高齢者等避難 開始 (市が発令)	警戒レベル3 相当情報 災害警戒情報 洪水警報 大雨警報 等
警戒 レベル 2	避難に備え、 ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 ！	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	これは、 みなさんが自主 的に避難行動を とるために参考 とする情報です。
警戒 レベル 1	防災気象情報等の最新情報に注意 するなど、 災害への心構えを高める ！	早期注意情報 (気象庁が発表)	

※避難指示(緊急)は、緊急又は重ねて避難を呼びかけるときに発令

日ごろの備え(非常時の持ち出し品)

避難時すぐに持ち出せる
必要最低限の備え



■救急・安全



■貴重品



■水・食料



■日用品



■衣類



2 避難に関する予備知識

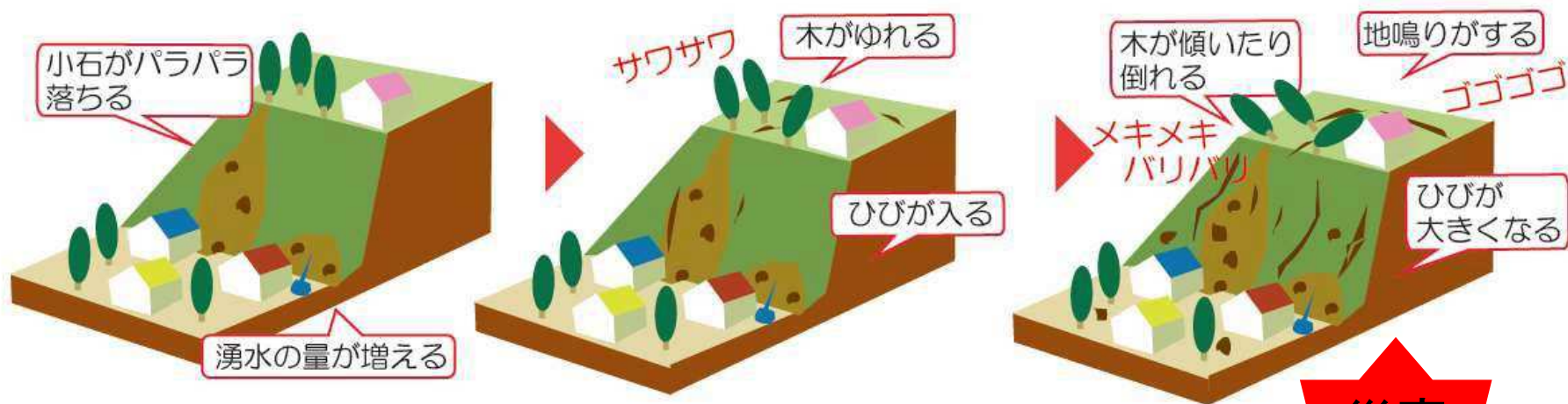
令和3年5月20日から避難情報が変更

大 危険性 小	レベル	避難情報など	市民の 取るべき行動	警戒 レベル	避難情報など	市民の 取るべき行動
	5	災害発生情報	命を守る 最善の行動	5	緊急安全確保 (市が発令)	命が危険な状況です。 今の場所よりも、少しでも安全 な場所で身の安全を確保しま しょう
	4	避難勧告 (避難指示(緊急))	安全な場所へ 避難	4	避難指示 (市が発令)	速やかに危険な場所から避難先へ全員 避難しましょう。公的な避難場所までの 移動が危険と思われる場合は、近くの 安全な場所や、自宅内のより安全な場 所に避難しましょう
	3	避難準備・ 高齢者等 避難開始	高齢者などは 安全な場所に 早めに避難	3	高齢者等避難 (市が発令)	避難に時間を要する人(高齢者、 障がいのある人、乳幼児等)とそ の支援者は避難をしましょう。その 他の人は、避難の準備を整えま しょう
	2	大雨注意報 洪水注意報	避難行動の 確認	2	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等によ り、自らの避難行動を確認しま しょう
	1	早期注意情報	避難の心構えを	1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう

災害以前に避難を完了するために情報の入手と早めの行動

2 避難に関する予備知識（土砂災害の前兆現象）

がけ崩れ（急傾斜地崩壊）



土石流

土石流発生前は、異常なおおいがする場合があります。
土の腐ったようなにおい、生臭いにおいがしたら、
すぐに避難してください！



2 避難に関する予備知識

情報の入手先

市では、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて防災・災害情報、気象情報を発信しています。積極的に情報を入手し、「早めの避難」「落ち着いた行動」を心がけましょう。

●ラジオ・テレビ放送

FM湘南ナバサ(周波数78.3MHz)や湘南ケーブルネットワーク(SCN)、テレビ神奈川(TVK)、④データ放送を通じて防災番組や災害時の緊急放送・文字情報での情報提供を行います。

●平塚市ウェブサイト

平塚市 災害対策課 検索

平塚市の防災・災害対策についてお知らせしています。



●ほっとメールひらつか

ほっとメールひらつか 検索

平塚市地震風水害情報をパソコンや携帯電話に電子メールで配信します。(要登録)



●ひらつかわくわくマップ

ひらつかわくわくマップ 検索

平塚市が保有する情報を市民のみなさんへ提供するサービスです。各種ハザードマップの情報や、土砂災害警戒区域が確認できます。



●防災行政無線

屋外にあるスピーカーから、避難に関する情報などをお知らせするものです。

●テレフォンガイド(利用には通話料がかかります。)

1時間以内に限り、防災行政無線で放送した内容を確認することができます。

至急コール 0180-99-4956 / 0463-22-4956



④データ放送

地上デジタルテレビのリモコンにある「d」「データ」などと表記されたボタンを押すと、気象情報や災害情報を見ることができます。

●平塚市ウェブサイト

ひらつか防災気象ウェブ 検索

平塚市のこれからのお天気や、土砂災害警戒情報が発表されているかを確認できます。



●twitter(市長室危機管理課・災害対策課)

twitter 防災ひらつか 検索

【アカウント】

@HiratsukaBosai

災害時の情報発信のほか、平塚市の危機管理に関する情報を発信します。



2 避難に関する予備知識

避難情報（緊急速報メール）



緊急速報メール

緊急安全確保(洪水)
警戒レベル5 緊急安全確保
金目川、鈴川、河内川、大根川、座禅川、板戸川で洪水による浸水被害が発生している可能性があります。

金目川、鈴川、河内川、大根川、座禅川、板戸川の付近に居る方で、安全な場所への避難が完了していない場合は、建物内のより高い所など、今いる場所より少しでも安全な場所へ直ちに移動してください。

(平塚市)

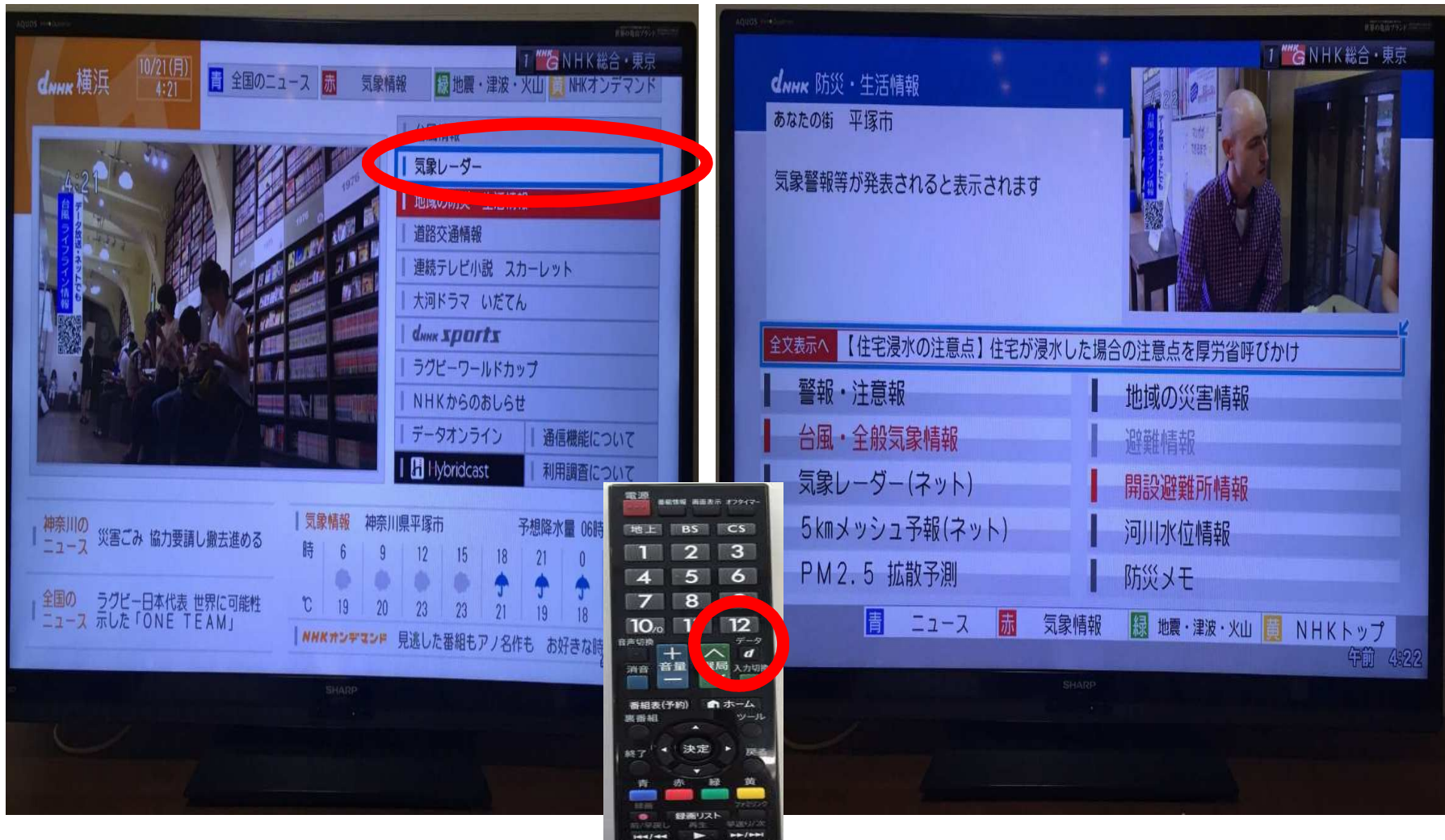
緊急速報メール

避難指示（土砂災害・浸水害）
警戒レベル4 避難指示
土砂災害発生や金目川沿いで浸水被害の恐れが高いため、身の危険を感じた方は、避難所などの安全な場所へ速やかに避難してください。勝原小、山下小、山城中、旭小、旭陵中、金旭中、土屋小、土沢中、吉沢小、東海大、金目中、みずほ小、岡崎小、大住中、きらりで避難者を受入れます。

(平塚市)

2 避難に関する予備知識

避難情報（テレビ）



2 避難に関する予備知識

情報の入手 気象情報や水位情報（ひらつか防災気象ウェブ）



2 避難に関する予備知識

情報の入手 ひらつかわくわくマップ



ひらつかわくわくマップ



2 避難に関する予備知識



平塚市

土砂災害ハザードマップ

発行：平塚市市長室対策対策課
年 月：令和2年（2020年）3月

知っておこう土砂災害リスク！考えよう避難行動！

自宅周辺の土砂災害リスク

自宅の 土砂災害警戒区域	☒ 土砂災害警戒区域（イエローゾーン） ☒ 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	☐ あり ☐ なし ☐ あり ☐ なし
避難先までの 土砂災害警戒区域	☒ 土砂災害警戒区域（イエローゾーン） ☒ 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	☐ あり ☐ なし ☐ あり ☐ なし

避難の方法

避難の際は車を降りて徒歩しましょう。

避難の方法 ☐ 立ち寄り避難（水不陸道） ☐ 屋内安全確保（直達避難） ☐ 船に避難	
---	--

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所を指定してあります。また、指定外の指定緊急避難場所でも避難（一時避難）を可能とする避難所として指定してあります。

指定緊急避難場所	市立一宮公民館 指定緊急避難場所
----------	---------------------

マイ・タイムラインを作ってみよう！

「いつ」「だれが」「何を」するのかをあらかじめ時系列で整理した
自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作ってみよう！



1. 避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成する

「いつ、避難行動計画を作成し、いつ、何をやるか」を記入し、家族と共有する。



2. 避難開始、避難する

自分の避難、避難場所、避難経路を確認する。



3. 避難先（集合場所）で待機（確認）

1. 避難先を確認し、2. 避難先で待機し、3. 避難先で待機する。

避難行動計画（マイ・タイムライン）を作成する

避難開始、避難する

避難先（集合場所）で待機（確認）

災害発生

土砂災害とは

土砂災害とは、がけ崩れ・土石流・地すべりのことをいい、勾配の急な山や、がけ、渓流のある地域に発生します。

がけ崩れ	土石流	地すべり
雨や地震などの影響で、地盤がゆるみ、突然斜面が崩れ落ちる現象（急傾斜地の崩壊）	山や川を構成する土砂が大雨などにより発生する大量の水と一緒に激しく押し流される現象	地下水などの影響により、斜面を構成する土塊が斜面下方に大きくすべりだす現象

※平野部に地すべり危険箇所はありません。

簡単な防災措置

土砂災害の発生から身を守るのはあなた自身です。家の裏りを点検し、事前対策を施しましょう。

水路の掃除をする

構造物の隅には修繕措置をする

崩れそうな箇所に土留めや擁壁を設置する

ビニール等でがけを覆い、雨水の浸透を防ぐ

雨水をがけに落ちないように排水路を設置する

神奈川県川崎市神奈川町水元「がけ崩れと土石流」をテーマに作成

早めの避難を！

1 避難準備・高齢者等避難開始

高齢者等避難時に時間のかかる方とその支援者は避難を開始！
その他の方々は避難の準備。

2 避難勧告等発令指示（緊急）

災害が発生するおそれ極めて高い状況であり、すみやかに避難！指定緊急避難場所等への避難を基本とする避難行動をとる。

3 災害発生情報

既に災害が発生している状況。
命を守るための最善の行動をとる！

前兆現象とは

土砂災害の発生前には、前兆現象がみられることがあります。急傾斜地やがけの崩落付近にお住まいの方は、前兆現象などにより危険を感じたらただちに避難してください。その際は近隣の声かけをお願いします。

安全を確保したあと、市に連絡して災害情報を提供してください。

がけ崩れの前兆現象

- がけから小石が落下
- 湧水の変わり、停止、突出
- がけに亀割が発生
- 地鳴り



土石流の前兆現象

- 川の水の異常な盛り
- 転石の音
- 土塵ににおい
- 川の水位の激減



斜面は一段で崩れ落ちます。すみやかにできるだけ速くへ逃げましょう。

土砂の流れる方向に対して垂直に、少しでも高いところへ逃げましょう。

土砂災害警戒区域とは

神奈川県が土砂災害防止法に基づき、土砂災害への注意が必要な区域として土砂災害警戒区域を指定しています。土砂災害警戒区域は、傾斜地の形勢に着目し一律に指定されるものです。区域に指定されることが直接土砂災害の危険性を示しているということではありません。

がけ崩れ

土砂災害警戒区域の境界
土砂災害警戒区域の範囲
土砂災害警戒区域の指定

土石流

土砂災害警戒区域の境界
土砂災害警戒区域の範囲
土砂災害警戒区域の指定

土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域（イエローゾーン）

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、建築物に被害が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域に及ぶ影響

警戒区域では、次の建築物の引当等は、原則で取扱いを受ける必要がある。警戒区域内である物件について重要事項説明を行うことが義務付けられています。

- 国土交通省の指導
- 建築物の構造規制
- 特定の開削行為に対する許可制
- 建築物の移転

● 区域に關してのお問い合わせ先

神奈川県平塚土木事務所

許可可指導課 TEL.0463-22-2711

みなさんにとるべき行動			
警戒レベル	みなさんにとるべき行動	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況 命を守るための最善の行動を！	災害発生情報 (自治体等)	防災気象情報 大雨特別警報 等
警戒レベル 4	すみやかに 避難先へ避難 避難が危険と認められる場合は、近 くの安全な場所や、自宅内より 安全な場所へ避難を！	避難指示(緊急) 避難指示 (自治体等)	警報レベル4 気象情報 緊急気象情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル 3	避難に時間がかかる方 高齢者・障がい者・妊婦 など など、その避難先を確認！ その後の行動は、 避難準備 ！	避難準備・ 高齢者等避難開始 (自治体等)	警報レベル3 気象情報 緊急気象情報 土砂災害警戒 大雨警報 等
警戒レベル 2	避難に備え、 バゲードマップ等により、 自らの 避難行動を確認 ！	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁等)	これらは、 みなさんが自主 的に避難行動を とるために参考 とする情報です。
警戒レベル 1	防災気象情報等の最新情報に注 意するなど、 災害への心構えを高める ！	早期注意情報	

※避難所(集合)は、緊急には要する避難を呼びかけるときに特記

日ごろの備え(非常時の持ち出し品)

避難時すぐに持ち出せる
必要最低限の備え

水・食料

日用品

着衣

救急・安全

貴重品

土砂災害に関する情報

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後市が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、神奈川県と横浜地方気象台が共同で発表する土砂災害情報です。土砂災害警戒情報が発表された際は「**いつ土砂災害が起きてもおかしくない**」という非常に危険な状態です。

この情報をもとに市は避難勧告等の発令の目安としますので、市から出た情報に注意してください。

- 危険箇所（山やがけ、斜面等）からすくくに離れましょう。
- 市が発令する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を見逃さないようにしましょう。
- 特に、土砂災害警戒区域では早めの避難を心がけましょう。

大雨警報 **土砂災害警戒情報**

横浜地方気象台 **神奈川県** **平塚市**

注意警報・注意報
土砂災害警戒情報
雨量・水位情報
避難情報など

ラジオ・テレビ
インターネット
新行の交通情報
携帯電話
デフォルトメール
防災メール
ツイッター
データ放送 など

市役所の皆さん
市民の皆さん

土砂災害警戒情報(気象庁ホームページ)
<http://www.jma.go.jp/jp/dosh/>
 土砂災害警戒判定メソッド情報(気象庁ホームページ)
<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
 【右ページ参照】

情報の入手先

市では、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて防災・災害情報、気象情報を発信しています。積極的に情報を入手し、「早めの避難」や「落着いた行動」を心がけましょう。

- **ラジオ・テレビ放送**
FM南風ナバシ（周波数78.3MHz）、中南海
岸ケーブルネットワーク（CS）のチャンネル
（VHS）で24時間放送を通じて防災情報や
災害時の緊急放送、文字情報などの情報提
供を行います。
- **平塚市ウェブサイト**

平塚市 災害対策課	検索
平塚市の防災・災害対策に関するお知らせをしています。	見る/読む/聞く


- **ほっとメールひろつか**

ほっとメールひろつか	検索
平塚市地区民生情報センター（民生センター）に電子メールで配信します。 （要登録）	見る/読む/聞く


- **ほっとわくわくマップ**

ほっとわくわくマップ	検索
平塚が発する情報は市民のみなさんへ提供されるサービスです。各町区バージョンの情報が、土砂災害警戒区域などで掲載されます。	見る/読む/聞く


- **防災行政無線**
随時実施するスピーカーから、避難に関する情報をど告知するものです。
1階以上には、（市街地）は設置が義務づけられています。
1階以下に限り、防災行政無線で放送した内容を聴取することができます。


④ アーゲ放送
地上デジタルテレビのリモコンにある「id17（イデイチ）」ボタンを長押しされたボタンを押すと、リアルタイムの情報や災害情報を発することが出来ます。


● Twitter（社会福祉協議会、災害対策課）

twitter 防災ひろつか	検索
【アカウント】 @HiratsukaBossi 災害時の情報収集のため、平塚市の危機管理に關する情報を発信します。	見る/読む/聞く

0180-99-4936 / 046-22-4936

土砂災害の危険度分布 (土砂災害警戒判定メッシュ情報)

土砂災害の危険度分布は、大雨による土砂災害発生時の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。東時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

土砂災害発生時の危険度が高まっているときは、土砂災害警戒区域から離れて、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示例
(<https://www.jma.go.jp/jp/doshomes/h>)

色が持つ意味	状況	住民等の行動の目安*	土砂災害警戒区域の危険度	避難安全確保†	相対危険度
危険度低い 警戒区域外	警戒区域外で土砂災害発生時の危険度が低い。土砂災害発生時の危険度が低い。	(土砂災害発生時の危険度が低い) 警戒区域外で土砂災害発生時の危険度が低い。	警戒区域外	5 相当	4 相当
危険度中程度 警戒区域	警戒区域で土砂災害発生時の危険度が中程度。土砂災害発生時の危険度が中程度。	(土砂災害発生時の危険度が中程度) 警戒区域で土砂災害発生時の危険度が中程度。	警戒区域	4 相当	3 相当
危険度高い 警戒区域	警戒区域で土砂災害発生時の危険度高い。土砂災害発生時の危険度高い。	(土砂災害発生時の危険度高い) 警戒区域で土砂災害発生時の危険度高い。	警戒区域	3 相当	2 相当
危険度非常に高い 警戒区域	警戒区域で土砂災害発生時の危険度非常に高い。土砂災害発生時の危険度非常に高い。	(土砂災害発生時の危険度非常に高い) 警戒区域で土砂災害発生時の危険度非常に高い。	警戒区域	2 相当	1 相当

*土砂災害発生時の危険度が高い場合は、警戒区域から離れて、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

†土砂災害発生時の危険度が高い場合は、警戒区域から離れて、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。

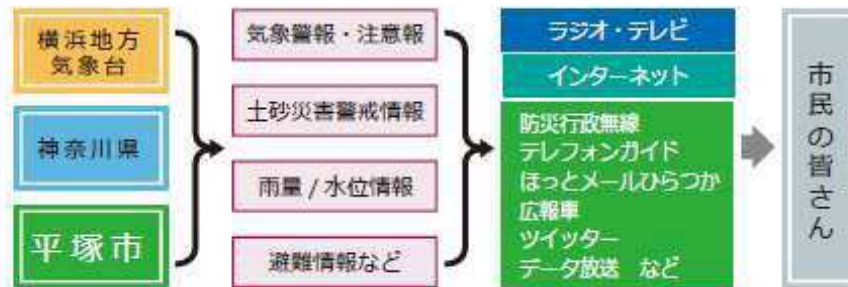
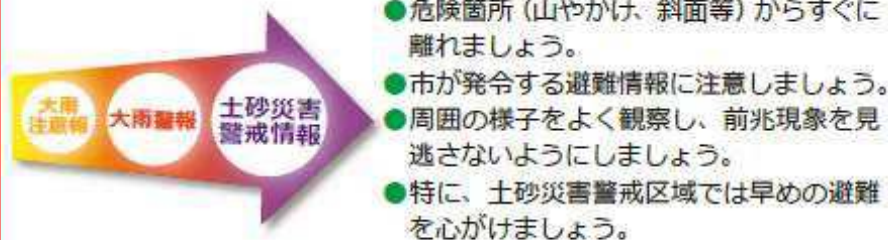
2 避難に関する予備知識

土砂災害に関する情報

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、神奈川県と横浜地方気象台が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報が発表された時は『**いつ土砂災害が起きてもおかしくない**』という非常に危険な状態です。

この情報をもとに市は避難勧告等の発令の目安としますので、市から出る情報に注意してください。



土砂災害警戒情報（気象庁ホームページ）

<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

土砂災害警戒判定メッシュ情報（気象庁ホームページ）

<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

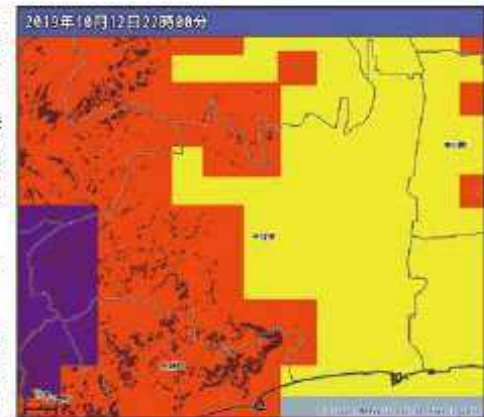
【右ページ参照】



土砂災害の危険度分布 （土砂災害警戒判定メッシュ情報）

土砂災害の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

土砂災害発生の危険度が高まっているときは、土砂災害警戒区域から離れて、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。



土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示例
（<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>）

気象庁ホームページ：「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」より抜粋

色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫 大雨特別警報（土砂災害）の発令に用いる基準に準拠して発表	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	（立退き避難がかえって危険な場合） 命の危険 直ちに身の安全を確保！	緊急安全確保※2	5相当
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				
危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	避難指示	4相当
警戒 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	土砂災害への警戒が必要な状況。	高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	土砂災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

2 避難に関する予備知識

土砂災害に関する情報

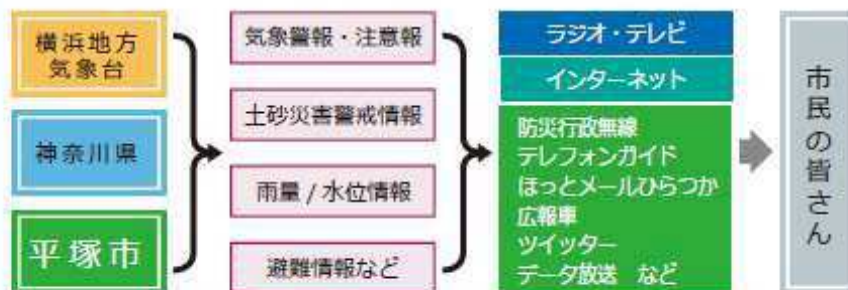
土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、神奈川県と横浜地方気象台が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報が発表された時は『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。

この情報をもとに市は避難勧告等の発令の目安としますので、市から出る情報に注意してください。



- 危険箇所（山やがけ、斜面等）からすぐに離れましょう。
- 市が発令する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を見逃さないようにしましょう。
- 特に、土砂災害警戒区域では早めの避難を心がけましょう。



土砂災害警戒情報（気象庁ホームページ）

<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

土砂災害警戒判定メッシュ情報（気象庁ホームページ）

<http://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>

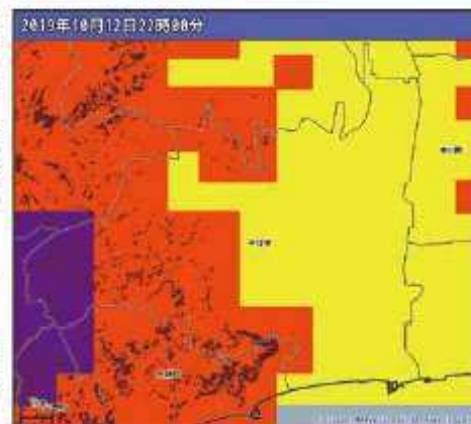
【右ページ参照】



土砂災害の危険度分布 （土砂災害警戒判定メッシュ情報）

土砂災害の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報（土砂災害）等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。

土砂災害発生の危険度が高まっているときは、土砂災害警戒区域から離れて、少しでも安全な場所への早めの避難を心がけてください。



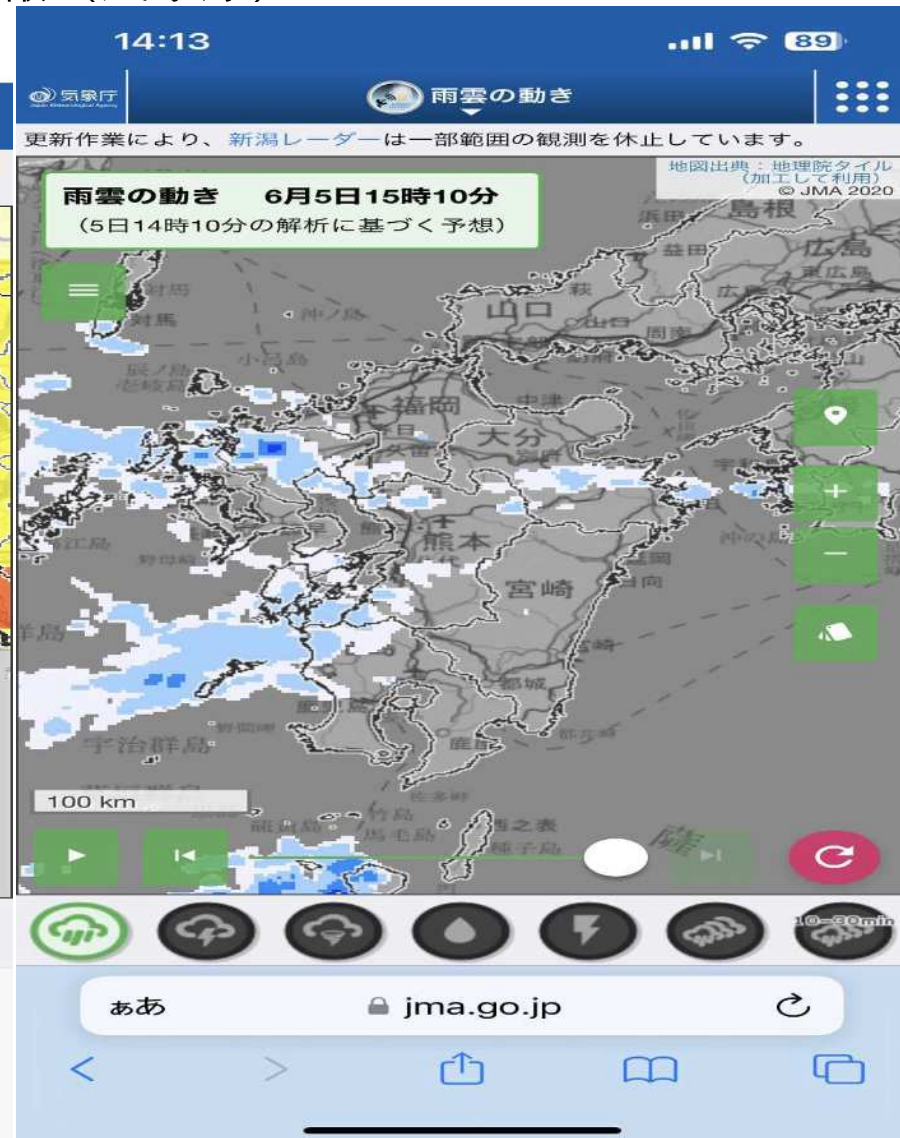
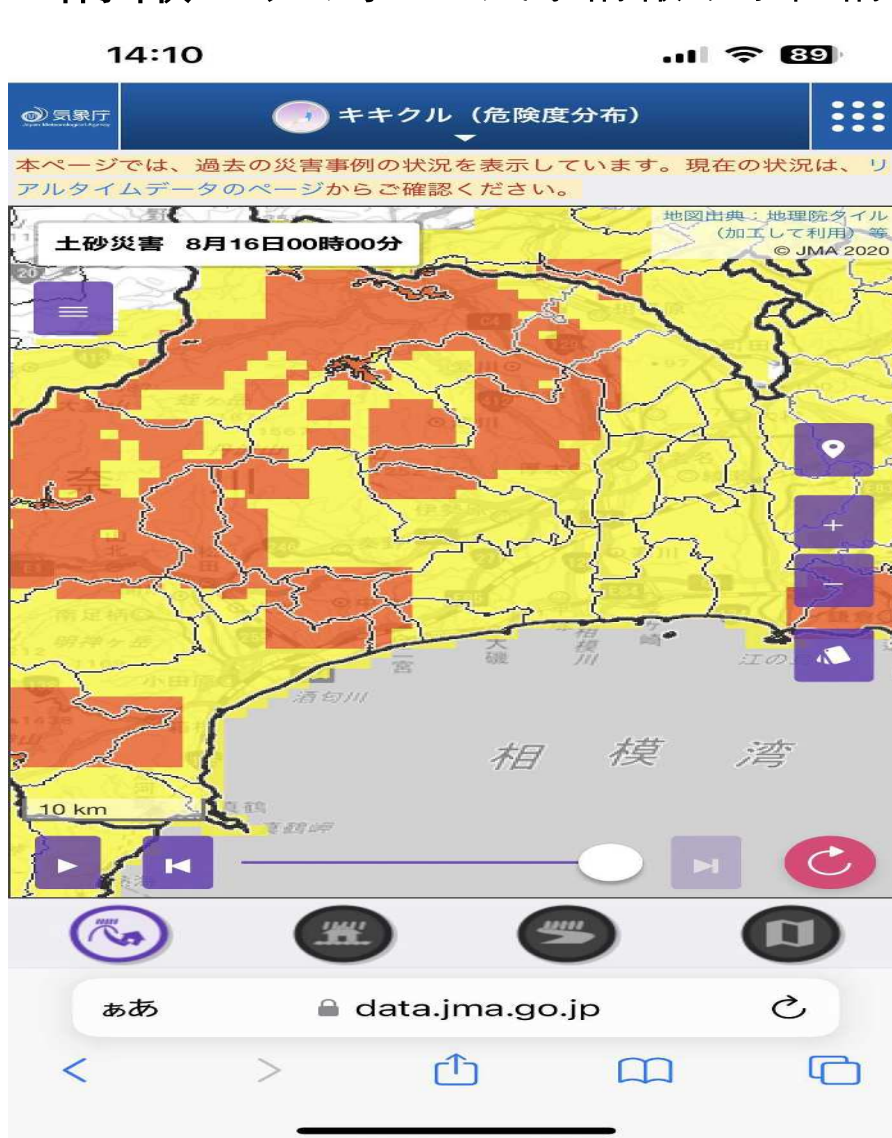
土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示例
（<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>）

気象庁ホームページ「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」より抜粋

色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫 大雨特別警報（土砂災害）の発令に用いられる最も重大な状況に到達	命に危険が及ぶ土砂災害が切迫。土砂災害がすでに発生している可能性が高い状況。	（立退き避難がかかって危険な場合） 命の危険 直ちに身の安全を確保！	緊急安全確保※2	5相当
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の発令に到達する予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。	土砂災害警戒区域等の外へ避難する。	避難指示	4相当
警戒 2時間先までに土砂災害警戒情報の発令に到達する予想	土砂災害への警戒が必要な状況。	高齢者等は土砂災害警戒区域等の外へ避難する。 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意 2時間先までに土砂災害警戒情報の発令に到達する予想	土砂災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

2 避難に関する予備知識

情報の入手 気象情報や水位情報（気象庁）



2 避難に関する予備知識

▽ 非常持出し品(常に入れておく)

☐ 懐中電灯・ライト 両手が空くようなライトが理想 	☐ 携帯ラジオ スマホのアプリも有効 	☐ 予備の電池 携帯電話の充電器も用意 
☐ ティッシュ 	☐ タオル 大きめのものを入れておくとう便利 	☐ 洗面用具(歯ブラシ等)
☐ 飲料水 最低1日間分 	☐ 食料 最低1日間分 	☐ ライター 
☐ ビニール袋(大・小)	☐ 衣類 濡れた服を着替えるため	☐ 替えの靴下 避難先で履き替える 
☐ ポータブルトイレ	☐	☐

▽ それぞれの事情により必要なもの

☐ 粉ミルク 	☐ ほ乳瓶 	☐ おむつ 
☐ 介護用品	☐ 常備薬 	☐ 流動食
☐ ペット用食料	☐ ペット用トイレ	☐ ペット用キャリーケース
☐ 生理用品	☐	☐

▽ 貴重品(避難時に入れる)

☐ 現金(小銭含む) 	☐ 運転免許証 	☐ 健康保険証 
☐ はんこ 	☐ 証券類	☐ 携帯電話 
☐	☐	☐

2 避難に関する予備知識

○避難するときの注意点

動きやすい格好、 複数人での避難

避難するときは、動きやすい格好で、近所で声をかけ合い、複数人で避難しましょう。



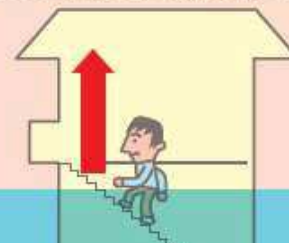
危険な場所を避けて

河川敷や橋、用水路等、水があふれやすい場所や地盤の緩みなどにより、がけ崩れが起こりやすい場所を避けて避難しましょう。



水深に気をつけよう

浸水深が50cm程度あると大人でも歩くことが困難です。外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の上階に避難しましょう。



基本は徒歩

浸水深が30cm以上では車の走行が困難になるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。しかし、大雨など徒歩で避難するのが危険な場合は車での避難を検討しましょう。



靴は運動靴

サンダルや長靴ではなく、ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。長靴は、中に水が入ると重くなって動きにくくなります。



足元に注意

足元が見えにくい場合は、はずれたマンホールや側溝等に落ちないように、棒や杖等で確認しながら歩きましょう。



3 マイ・タイムラインについて

平塚市 発行：平塚市市長室災害対策課 年月：令和2年(2020年)3月

土砂災害ハザードマップ

知っておこう土砂災害リスク! 考えよう避難行動!

自宅周辺の土砂災害リスク

自宅の土砂災害警戒区域	●土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	☐ あり ☐ なし
	●土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	☐ あり ☐ なし
避難先までの土砂災害警戒区域	●土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	☐ あり ☐ なし
	●土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	☐ あり ☐ なし

避難の方法

避難の方法を検討しておきましょう。

避難の方法 ☐立ち退き避難(水平避難) ☐屋内安全確保(垂直避難) ☐階に避難

指定緊急避難場所

指定緊急避難場所を確認しましょう。また、自宅から指定緊急避難場所までの経路や時間を実際に歩いて確認しましょう。

指定緊急避難場所	自宅～指定緊急避難場所までの時間
----------	------------------

マイ・タイムラインを作ってみよう!

「いつ」「だれが」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画(マイ・タイムライン)を作ってみよう!

災害発生

(例)気象情報の収集をする。避難先、持出物の確認をする。

警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始

(例)避難の準備を始める。祖父・祖母をつれて●●へ避難する。

警戒レベル4 避難勧告

(例)はやくやかに避難する。自宅の●●階に垂直避難する。

Point
最終の情報として避難勧告を知ったときの行動も考えておこう!

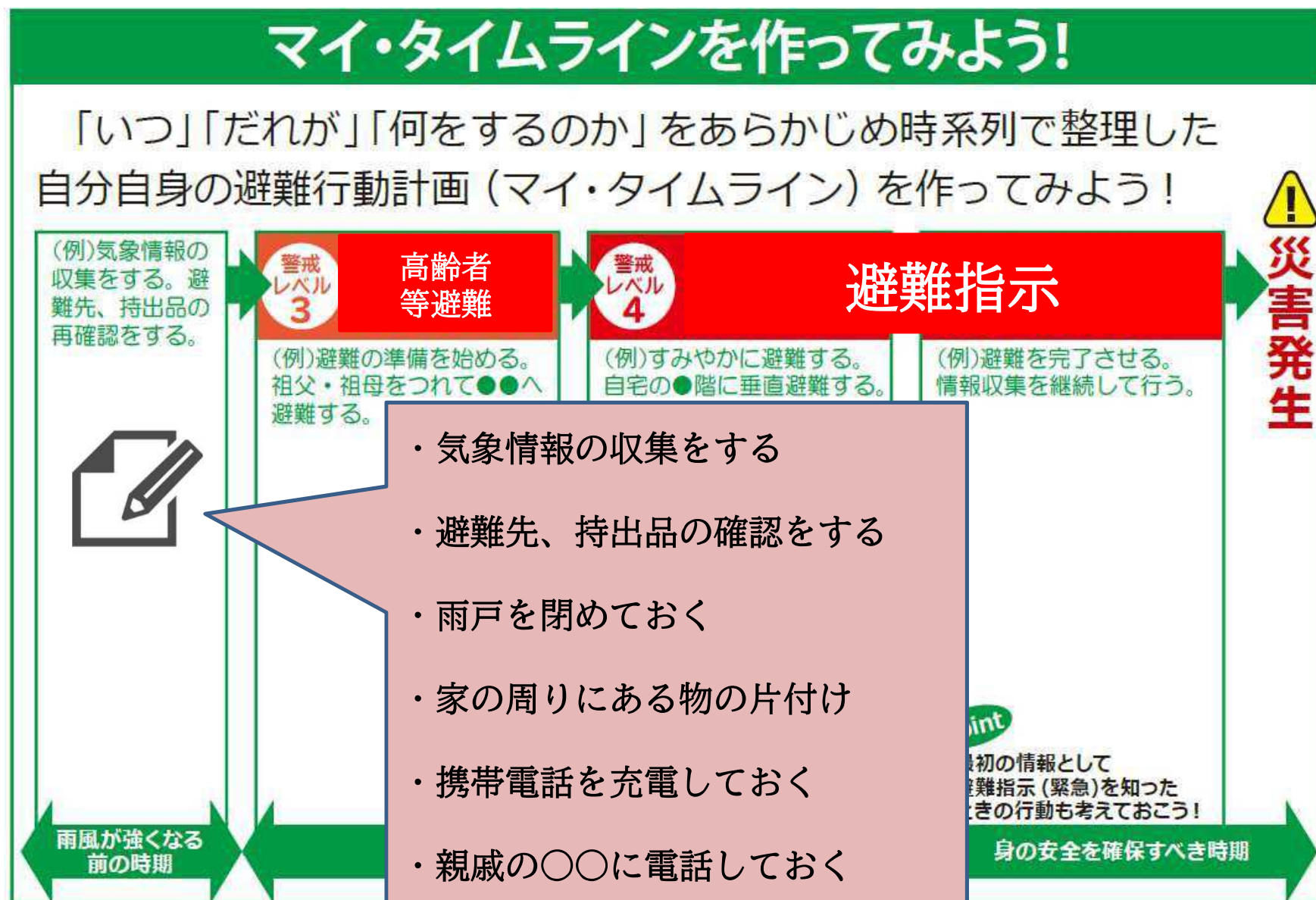
警戒レベル4 避難指示(緊急)

(例)避難を完了させる。情報収集を継続して行う。

Point
最終の情報として避難指示(緊急)を知ったときの行動も考えておこう!

雨風が強くなる前の時期 → 避難行動を開始する時間 → 身の安全を確保すべき避難

3 マイ・タイムラインについて



3 マイ・タイムラインについて

マイ・タイムラインを作ってみよう!

「いつ」「だれが」「何をするのか」を
自分自身の避難行動計画（マイ・タイム

(例)気象情報の
収集をする。避
難先、持出品の
再確認をする。

警戒
レベル
3

高齢者
等避難

警戒
レベル
4

(例)避難の準備を始める。
祖父・祖母をつれて●●へ
避難する。



point

最初の情報
避難勧告を
行動も考

雨風が強くなる
前の時期

避難行動を開始する時期

警戒レベル3 高齢者等避難

- ・ 非常持出品の用意
- ・ 貴重品の用意
- ・ 避難の服装に着替え
- ・ 戸締り・施錠の確認
- ・ 気象の確認
- ・ 外出している家族に連絡
- ・ ○○さんに避難するか相談する
- ・ ○○へ避難開始する

3 マイ・タイムラインについて

マイ・タイムラインを作ってみよう!

「いつ」「だれが」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した
自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）

(例)気象情報の
収集をする。避
難先、持出品の
再確認をする。

警戒
レベル
3

高齢者
等避難

(例)避難の準備を始める。
祖父・祖母をつれて●●へ
避難する。

警戒
レベル
4

(例)すみやかに避
自宅の●階に垂

point

最初の情報として
避難勧告を知ったとき
行動も考えておこう!

雨風が強くなる
前の時期

避難行動を開始する時期

警戒レベル4 避難指示

- ・ カッパを着て避難
- ・ 避難途中であれば避難を完了させる
- ・ 避難場所に着いたら身支度
- ・ 情報収集

◇ 本日の内容

- 1 土砂災害ハザードマップの見方・使い方
- 2 避難に関する予備知識
- 3 マイ・タイムラインについて

◇ 本日の目標

- ① 災害リスクを確認する
- ② 災害情報の入手方法を知る
- ③ マイ・タイムラインを作成
状況に応じた適切な避難行動を考える



ご清聴ありがとうございました